



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい編(新築) ■使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2015年版 CASBEE-BD_NC_2015(v.1.1)

1-1 建物概要

建物名称	読売テレビ新社屋建設計画	
建設地	中央区城見1丁目	
建築用途	テレビスタジオ	
建築主	読売テレビ放送(株)	
設計者	(株)竹中工務店	
敷地面積	12,495.90	m ²
建築面積	6,976.39	m ²
延床面積	51,193.54	m ²
構造/階数	S造	/ 地上17F、地下1F
完了年(予定)	2019年1月	

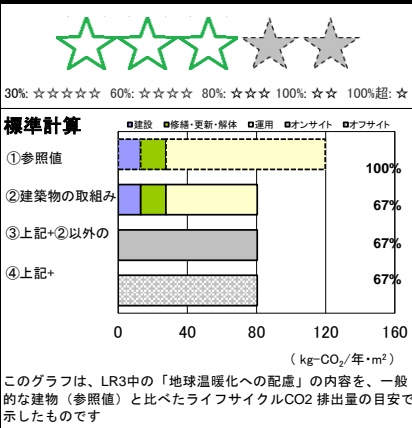
1-2 外観



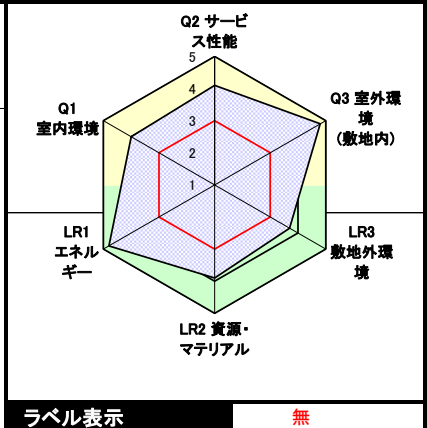
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



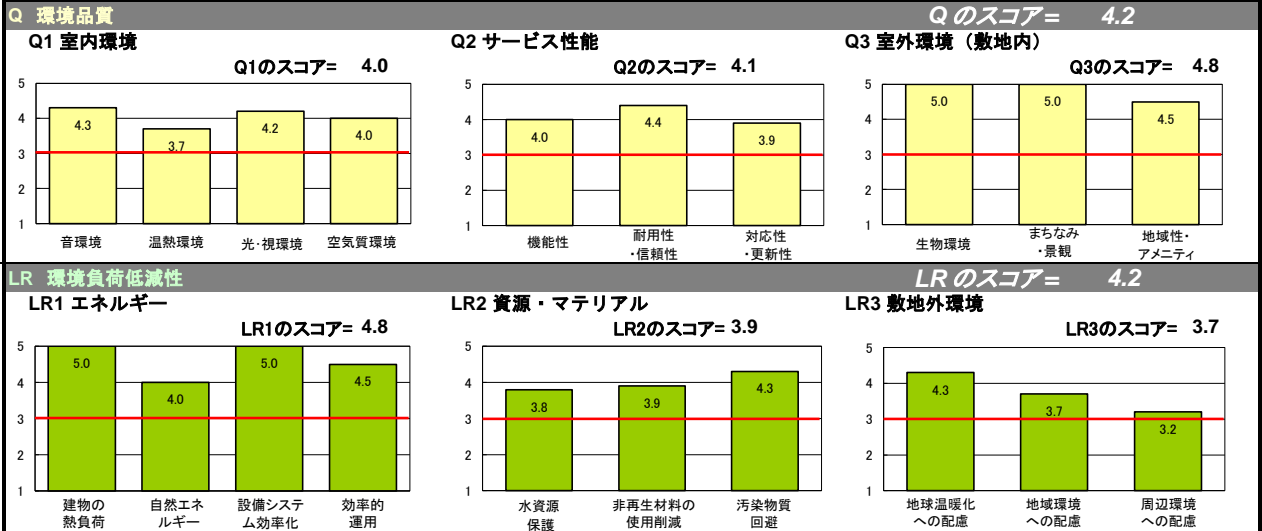
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

<p>総合 テレビ放送機能と本社機能の両方を兼ね備える複合施設である。高い信頼性や安全性、BCP対応とともに、快適性と省エネルギー性・省CO2の両立をめざして計画している。</p>	<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境 快適な執務空間をめざし、高断熱外皮、快適かつきめ細やかな制御が可能な空調システム、積極的な屋光利用とガラス防止とともに自動調光照明制御を導入している。放送施設については、徹底した騒音対策で超低騒音空間を実現している。</p>	<p>Q2 サービス性能 免震構造をはじめ、受変電設備や重要空調設備の二重化、災害時の電源対策や多種多様な通信設備対応を実施している。またフレキシブルなワークスペースとするためにシステム天井やOAフロアを採用し、同時に維持管理や更新性の向上を図っている。</p>
<p>LR1 エネルギー ダブルスキン等の高断熱外皮と高効率システムにより、BPI=0.73かつBEI=0.59を達成している。中央監視盤にエネルギー見える化の仕組み、エントランスホールやスタジオ前に表示パネルを設置し、社員や来訪者に対してエネルギー削減の啓発を実施予定である。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 免震、プレキャストコンクリート、TOFT工法など材料使用量の削減や現場での仮設資材の削減に貢献する材料や工法を多く採用している。また雨水利用、リサイクル材料の使用、有害物質を含まない材料の使用に努めている。</p>
<p>Q3 室外環境 (敷地内) 大阪城や大阪ビジネスパークの緑につながる魅力的なランドスケープを、外構および複数の屋上庭園を通して立体的に構築している。また建物外部に広場やアペニユーを設け、街に賑わいを創出する仕掛けを提供している。</p>	<p>LR3 敷地外環境 外構緑化や屋上緑化、設備排熱の温熱利用や水冷却により敷地外の温熱環境の悪化に対する影響を軽減している。また廃棄物は量の推計による適正分別スペース確保、リサイクルを含む適正処理を計画している。屋外照明は周辺環境を考慮した計画としている。</p>

省エネルギー基準計算結果入力表

■省エネルギー基準適合状況

適合	※住宅・非住宅それぞれの外皮性能と、住宅の専有部分及び建物全体の一次エネルギー消費量の全てについて基準を満たしているとき、省エネ基準適合となります。 評価方法ごとの基準を満たす要件は、以下のとおりです。 ・標準法の場合は、設計値が基準値以下であること ・モデル建物法の場合は、BPIm・BEImが1.0以下であること ・住宅用途の外皮性能については、等級4であること
----	---

■非住宅用途

	評価方法	基準値 MJ/(㎡・年)	設計値 MJ/(㎡・年)	BPIm
外皮性能	BPI(標準法)	452	332	

	評価方法	基準値 GJ/年	設計値 GJ/年	BEIm	太陽光発電等 オンサイト分のエネルギー 量 GJ/年	太陽光発電等 オンサイト分を含まないBEIm
一次エネルギー消費量	BEI(標準法)	69,893	41,102			

■住宅用途

	品確法
外皮性能	対象外

◇専有部分 ※算定用プログラムを使わない場合は、「②算定用プログラムを使わない場合の評価」を入力

	基準値 GJ/年	設計値 GJ/年	うちその他エ ネルギー(家 電・調理分) GJ/年	太陽光発電等 オンサイト分 のエネルギー 量 GJ/年
一次エネルギー消費量				

↑
直接入力または「①住戸部その他エネルギー(家電・調理分)の簡易計算」から転記

◇共用部分

	基準値 GJ/年	設計値 GJ/年		太陽光発電等 オンサイト分 のエネルギー 量 GJ/年
一次エネルギー消費量				

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ (45) m <input type="checkbox"/> 地上部 (<input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他 ()
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 方位 (北) 高さ(約 118) m 水平距離(約 12) m 方位 (南東) 高さ(約 95) m 水平距離(約 50) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m
ウ 日照の確保(冬至)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分
③ 熱需要の条件等の検討	
ア 建築物の用途	テレビスタジオ
イ 熱需要対象用途	<input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他 ()
ウ 設置可能面積	(89.1) m ²
エ 概算年間熱利用量	(193,844) MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
カ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (例：設備用基礎の設置) ()
④ 導入判断	
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する → 具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない	
導入を見送る理由(複数選択可) <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない <input type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他 ()	
2 導入する設備の概要	
ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他 ()
備考	